



あいおいっ子

実践的に！不審者対応避難訓練

1月21日（木）に「1年2組に不審者が侵入した想定」で、不審者対応避難訓練を実施しました。例年は全児童が体育館に避難をするのですが、今回は避難先の体育館が密にならないように、3年生から6年生までは校舎内の指定された場所までの避難に留めました。

体育館まで安全に避難できた1・2年生は、防犯訓練もおこないました。不審者役を兼ねてご来校いただいた桐生警察署生活安全課スクールサポーターのN・Mさんには、「道路で見知らぬ人から声をかけられた設定」で訓練の指導もしていただきました。声をかけられる役を演じたH・Sくん(2年2組)と、N・Rさん(1年1組)は、不審者の手を振りほどいて、助けを呼びながら一目散に逃げるのができ、とても良いお手本を見せてくれました。

訓練で学んだことを、いざという時に生かせる力を身に付けてほしいと思います。



1年2組に侵入した不審者を確保する教職員



不審者の手を振りほどいて逃げるHくん

スクールサポーターからの指導助言

①避難訓練について

- 1年2組の子どもたちは、担任の先生の指示をよく聞いて正しく避難できた。避難する時には、口にチャックをして先生の指示や放送をしっかりと聞く耳をもってください。
- 担任の先生は、みんなの命を守るために一生懸命対応した。みんなの命は宝。たった一人でも、たったひとつでも、大切な命をなくさないようにしてほしい。

②防犯訓練について

- 道で知らない人に声をかけられて、手を引っ張られたり車に乗るように言われたりしても、絶対についていけないこと。どんなに優しい言葉をかけられても、どんなに楽しい話をされても、それは連れ去るための手段でしかない。
- 危ない時は、今日のふたりのように大きな声で助けを呼んで全力で逃げること。